



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！

になれるところ

報恩講勤修



御伝鈔拝読



輪番挨拶



朝倉師



佐野師

7月24日から26日の日程でコロナ対策、暑さ対策に配慮し報恩講が勤まりました。毎座約30名の方々が参加され、24日法話を担当された福井教区駐在教導の朝倉師は「出来る、出来ないで人を選別する事は、阿弥陀仏の願に依えている事なのでしようか」と問いかけられ、25日26日法話を担当された佐野明弘師(大聖寺教区)は「称える事は聞、聞とは聞こえることでありそれは呼びかけと目覚めであり、その事が自分との出遇である」と語りかけられました。お二人の言葉に、参加された方々は汗をふきながら、時には大きく頷き、ときには首をかしげながらそれぞれのすがたで応えられていました。



7月17日、朝からむせかえる様な暑さの中で、預かり門徒の方々にお集まりいただき、報恩講の準備として、本堂や山門に幕を張っていただき、また日頃は使われない書院の清掃をお手伝いいただきました。皆様汗だくになりながらも、多くの方々に来られるのならば手は抜けないと丁寧に準備していただきました。この場を借りてあつく御礼申し上げます。